Panasonic®

SmartArchi
LEDペンダント

施工説明書
取扱説明書
保管用

（一般屋内用）

光　色	品　番			
	単体用	連結電源用	連結中用	連結信号用
昼白色【5000K】	FYY (FYYH) 56020	FYY (FYYH) 56021	FYY (FYYH) 56022	FYY (FYYH) 56023
白　色【4000K】	FYY (FYYH) 56024	FYY (FYYH) 56025	FYY (FYYH) 56026	FYY (FYYH) 56027

※上記（ ）内は加工品番です。
（以降、加工品番の記載を省略します。）

・器具の取付には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

安全に関するご注意

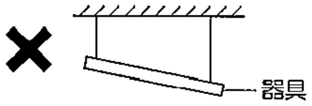
取付前のご確認事項

●器具の施工には専用の吊具が必要です。適合吊具品番を確認してください。

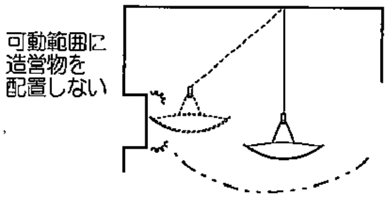
器具取付状態	適合吊具品番		
	FYY80035 (電源線付)	FYY80031 (通電穴なし)	FYY80032 (通電穴付)
単体	1台	不要	1台
連結(N台)	1台	(N－1)台	1台

⚠ 警告

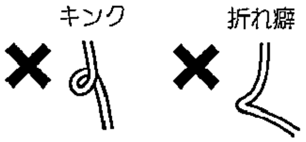
●施工は、施工説明にしたがい確実に行う。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
●器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
●ＬＥＤユニットが破損した状態で使用しない。落下・感電・火災の原因となります。
●光源として高輝度ＬＥＤを使用しています。光源部（ＬＥＤユニット部）を長時間直視しない。
目に障害をあたえる恐れがあります。
●吊下専用器具です。上記適合吊具および必要台数以外での取付はしない。
●水平な天井取付専用です。傾斜天井には使用しない。落下の原因となります。
●器具を傾斜させて取付しない。落下の原因となります。



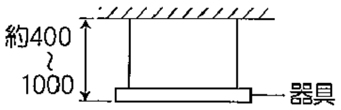
●器具の可動範囲内に造営物等を配置しない。
不備があると器具落下の原因となります。



●素線の切れたワイヤー、変形(キンク)または折れ癖の付いたワイヤーは
使用しない。そのまま使用すると落下の原因となります。
●ワイヤーが絡んだ状態や切れたままで使用しない。落下の原因となります。
●開放廊下等、風の強い所では振止処理を行う。
不備があると落下の原因となります。(振止処理のワイヤー、金具は別途手配が必要です。)
●吊具のワイヤー長さ調整時は、器具を手で支えながら行う。支えずに長さ調整を行うと
落下の原因となります。



●吊具に衝撃を加えない。衝撃が加わった場合は、異常が無いか確認する。
そのまま使用すると、落下の原因となります。
●電源線(吊具に付属)は、指定の位置から器具内に通す。守らないと感電、火災の原因となります
●表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数で使用する。
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、感電・火災の原因となります。
●吊下設定可能高さは約400～1000㎜です。指定外の長さでワイヤー吊をしない。
落下の原因となります。
●連結台数は１８台以下です。



⚠注意

●直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨水のかかる場所、風の強い場所
腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
●周囲温度は、5~35℃で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、ちらつきや短寿命の原因となります。

施工上のご注意

・コネクタ接続は、必ず電源を切ってから行なってください。ＬＥＤユニットの故障・短寿命の原因となります。
万一、通電状態でコネクタ接続を行った場合、電源ユニットの保護回路(発振停止機能)によりＬＥＤユニットは点灯しません。
・スイッチを接地側に取付けた場合、消灯後も薄暗く発光する場合がありますので、必ず非接地側（電圧側）に取付けてください。（接地側の無い電源では両切りスイッチをおすすめします）
・照明器具2台以下で、ほたるスイッチと組合わせて使用する場合、累積点灯時間のリセットが動作しない場合がありますのでスイッチは2箇所までとしてください。※累積点灯時間のリセットについては、9ページ「使用上のご注意」をご参照ください。
・Ｔ／Ｕ付６Ａリレーを使用する場合、照明器具の接続台数に制限があります。
詳細については、該当Ｔ／Ｕ付６Ａリレーのカタログ・商品仕様書をご参照ください。
・起動方式“ＬＸ”の器具は、当社適合コントロールとの組合せにより、光出力を約２５～８５％に変化させることができます。

■適合コントロール

適合コントロール	ＬＸ
セパレートセルコン、インバータ蛍光灯調光T/U；スーパーマーケットセルコン	○注1
ライトコントロール、信号線式（ＬＥＤ･インバータ蛍光灯）（Ｈｆ側で使用）	○注2･3
ライトマネージャＳ＋連続調光インバータ照明器具用ブースタ（Ｈｆ側で使用） ライトマネージャＬ＋調光ボックス（Ｈｆ側で使用）	△注4

・適合コントロールは当社製品をご使用ください。適合コントロールの注意事項については適合コントロールの説明書をご確認ください。
・接続可能な器具台数は器具の定格電圧により異なります。詳細はライトコントロールの承認図、取扱説明書をご参照ください。
※ライトコントロールで照明器具電源を接続する場合、接続台数が減少する場合があります。
ライトコントロールの定格容量とＬＥＤ器具の定格を事前に確認してください。
・ＬＸは初期照度補正機能が入っており、ライコンのつまみで調光できる範囲が狭くなります。
つまみの上下限域では操作しても明るさは変りません。

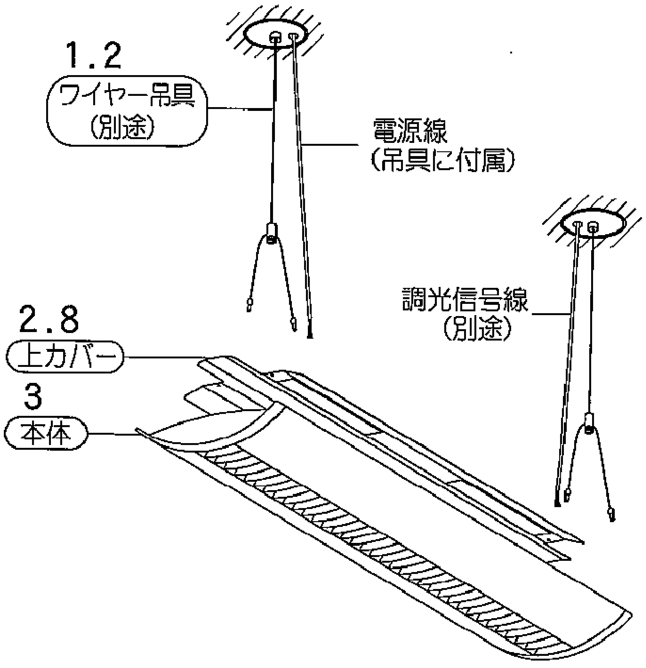
注１）調光器による消灯後も薄暗く発光する場合があります。
注2）ライトコントロール側のスイッチで消灯した場合、消灯後も薄暗く発光する場合があります。演出用に消灯する際はご注意ください。
注3）３秒以下の電源ＯＮ操作を６回繰り返すと、累積点灯時間がリセットされ、１０秒間１００％点灯します。
注4）調光器による消灯後も薄暗く発光する場合があります。演出用に消灯する際はご注意ください。

■結線について
・調光信号線はＣＰＥＶ線φ０.９又はφ１.２×1ペアです。
・コントロールの結線はコントロールの説明書をご確認ください。
・電源線は低圧屋内配線工事、調光信号線は弱電流配線工事が必要です。
・吊具本体には送り配線の結線スペースがありません。電源を送る場合は、吊具本体外に別途、ジョイントボックス、アウトレットボックス等を設置して行ってください。

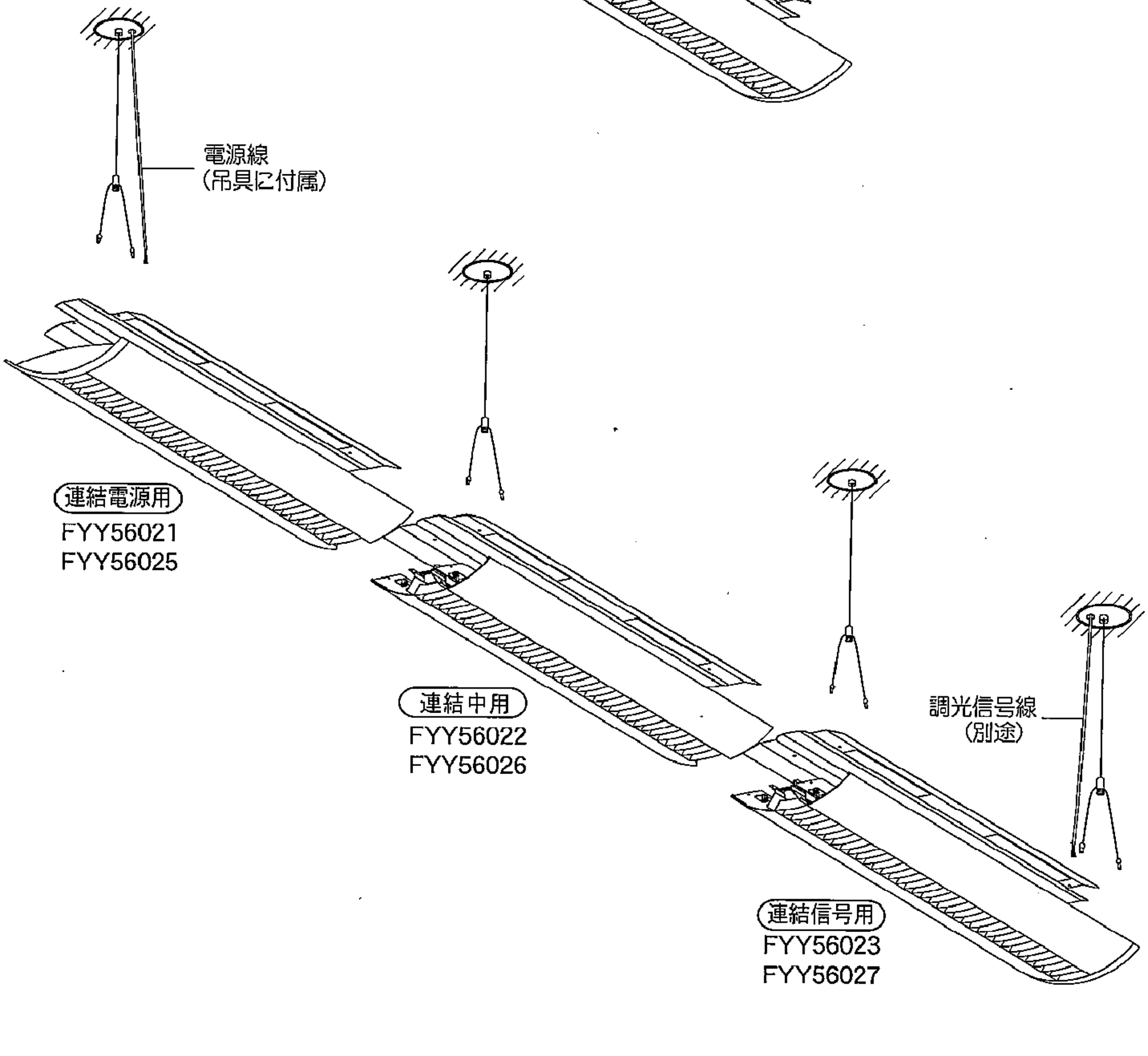
各部のなまえ

単体の場合

FYY56020
FYY56024



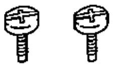
連結の場合



取付方法

付属部品

・取付ネジ 2本
(そえ板取付用)

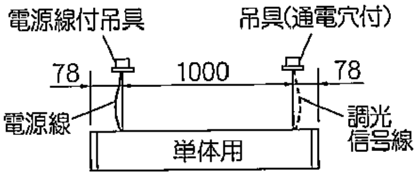


連結中用
(FYY56022,FYY56026)
連結信号用
(FYY56023,FYY56027)
に付属しています

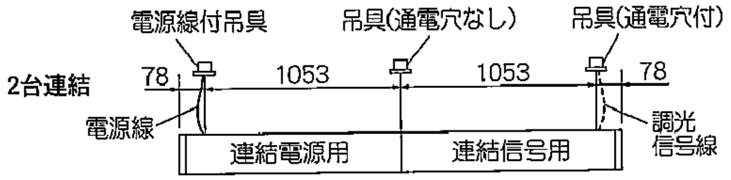
⚠ 警告

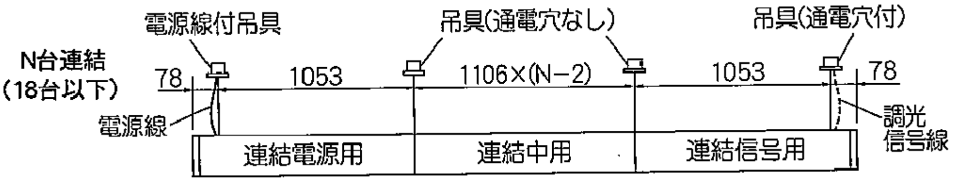
施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の
原因となります

<単体の場合>



<連結の場合>





電源線付吊具は、連結電源用器具の終端側、吊具(通電穴付)は連結信号用器具の終端側に配置されるように取付けてください。電源線、調光信号線は連結の両端から各々引き込んでください。連結途中からの入線はできません。

1. 吊具の取付および設定

・器具質量（FYY56020の場合 約7.0kg）に十分に耐えるよう
　取付ボルトの強度を確保する。
※吊具の取付方法については、吊具の取扱説明書を参照ください。
　不備があると器具落下の原因となります。

2. 器具取付前の準備

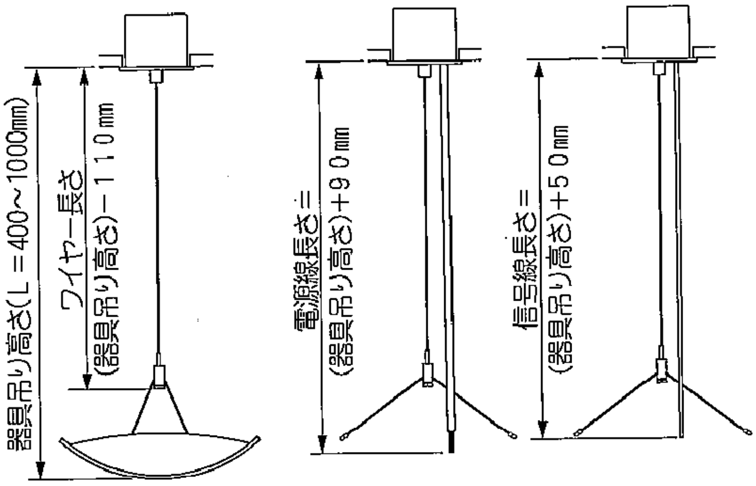
・器具の吊高さを設定し、吊具（別途）のワイヤー長さを合わせておく。
　不備があると器具落下の原因となります。ワイヤー長さの調整方法は吊具の取扱説明書を参照ください。

・器具の吊高さに合わせて下記【計算式】を参考に電源線、アース線(共に電源線付吊具に付属)を切断する。
・調光信号線（別途）は、必要な長さを確保しておく。
　不備があると火災・感電の原因となります。

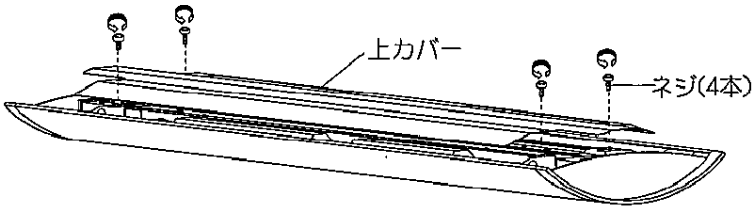
【計算式】

ワイヤー長さ：(器具吊り高さ)−110mm
電 源 線　：(器具吊り高さ)+90mm
信 号 線　：(器具吊り高さ)+50mm

<例>
・器具吊り高さ（L）が400mmの場合
　ワイヤー長さ：290mm
　電 源 線　：490mm
　信 号 線　：450mm
　となるように各々の線を切断する



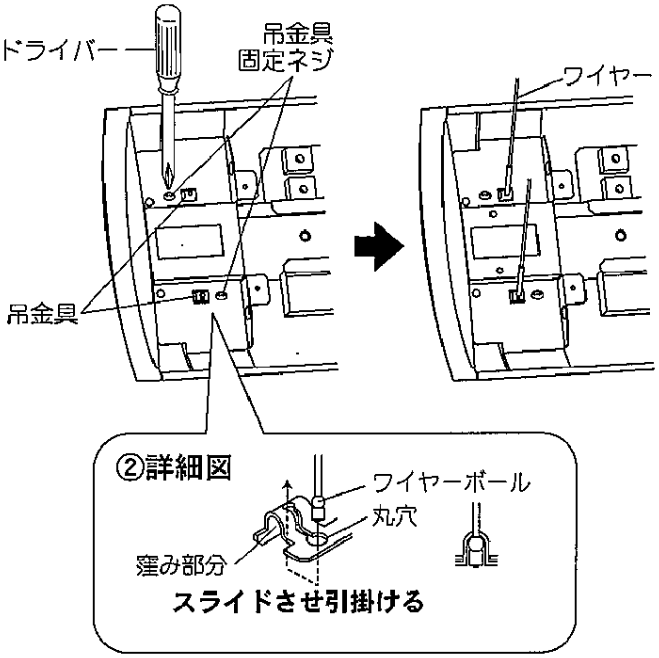
・ネジ4本を外し、上カバーを取外す



取付方法

3. 器具の取付

単体の場合



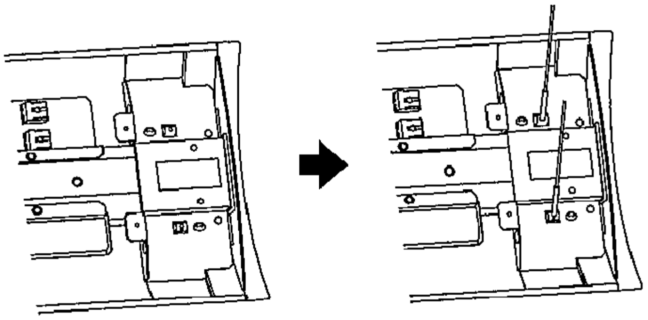
①吊金具固定ネジをドライバーでゆるめる。
　（抜止めがついています）
②ワイヤー先端のワイヤーボールを吊金具の丸穴に通し、窪み部分にスライドさせ、引っ掛ける
③吊金具固定ネジをドライバーで締め付けて、固定する。
（推奨トルク値0.5N・m（5kg f・cm））
不備があると器具落下の原因となります。

連結の場合

・必ず、連結信号用 → 連結中用 → 連結電源用の順に施工する。
施工順序に不備があると施工ができません。

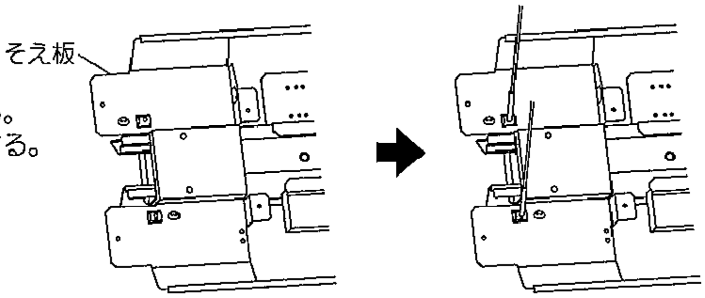
＜連結信号用の取付＞

〔1〕調光信号線側



①吊金具固定ネジをドライバーでゆるめる。
　（抜止めがついています）
②ワイヤー先端のワイヤーボールを吊金具の丸穴に通し、窪み部分にスライドさせ、引っ掛ける。
③吊金具固定ネジをドライバーで締め付けて、固定する。
（推奨トルク値0.5N・m（5kg f・cm））
不備があると落下の原因となります。

〔2〕そえ板側



①吊金具固定ネジをドライバーでゆるめる。
　（抜止めがついています）
②ワイヤー先端のワイヤーボールを吊金具の丸穴に通し、窪み部分にスライドさせ、引っ掛ける。
③吊金具固定ネジをドライバーで締め付けて、固定する。
（推奨トルク値0.5N・m（5kg f・cm））
不備があると落下の原因となります。

※②の詳細図は、上記「単体の場合」を参照。

取付方法

3. 器具の取付(つづき)

＜連結中用の取付＞

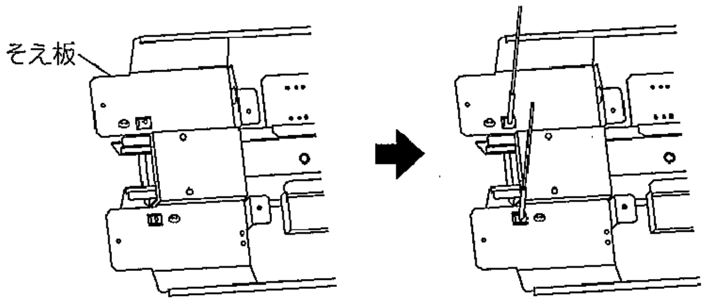
〔1〕そえ板側

①吊金具固定ネジをドライバーでゆるめる。
　（抜止めがついています）

②ワイヤー先端のワイヤーボールを吊金具の
　丸穴に通し、窪み部分にスライドさせ、引っ掛ける。

③吊金具固定ネジをドライバーで締め付けて、
　固定する。
　（推奨トルク値0.5N・m（5kgｆ・cm））
　不備があると落下の原因となります。

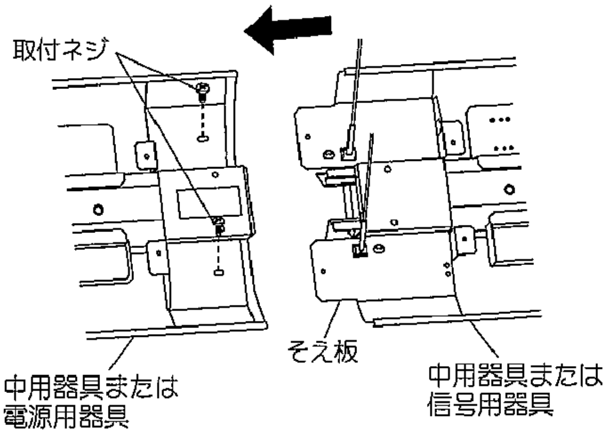
※②の詳細図は、5ページ「単体の場合」を参照。



〔2〕そえ板が付いていない側

①中用器具または連結信号用器具のそえ板を
　中用器具に差し込み、同梱の取付ネジ(2本)で固定する。
　（推奨トルク値0.5N・m（5kgｆ・cm））

②中用器具または連結信号用器具と、中用器具の
　コネクタを接続する。(2箇所)
　不備があると不点灯の原因となります。



＜連結電源用の取付＞

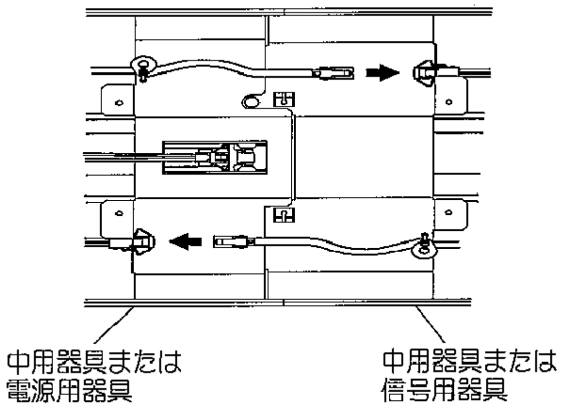
〔1〕電源線側

☞ 5ページ「単体の場合」参照。

〔2〕器具の連結側

①中用器具または連結信号用器具のそえ板を
　連結電源用器具に差し込み、同梱の取付ネジ(2本)で
　固定する。
　（推奨トルク値0.5N・m（5kgｆ・cm））

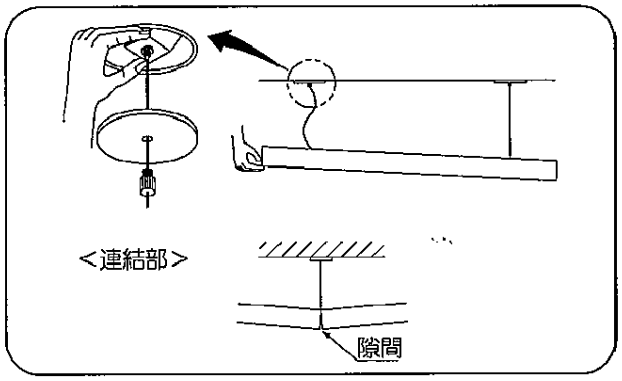
②中用器具と連結電源用器具のコネクタを接続する。
　不備があると不点灯の原因となります。



取付方法

4. 器具の高さ調整

・器具が水平になるように、ワイヤー長さを微調整する。
・連結の場合は、器具が水平でないと連結部に隙間が生じる
おそれがあります。
・調整時は必ず器具を手で支えながら行う。
器具を支えずに行うと、落下の原因となります。
・調整後、ワイヤーに異常がないか確認する。
異常があるまま使用すると、落下の原因となります。
不備があると、落下の原因となります。

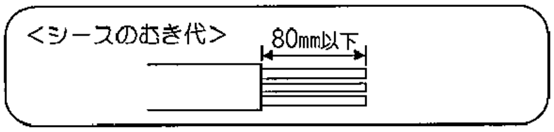


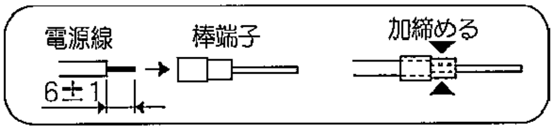
5. 器具の傾きの調整

・吊具（別途）のジョイント金具のスリワリ付ネジを緩めて
器具を水平にする。
・吊具のスリワリ付ネジをネジ回しにて確実に締め付ける。
取付が不完全な場合、器具傾斜の原因となります。

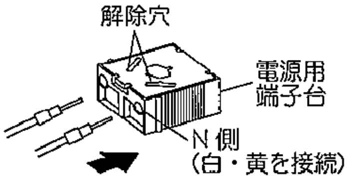
6. 電源線・アース線の接続

・電源線（吊具付属）を本体の電源用穴より引き込む。
指定以外の電源線を使用すると火災・感電の原因となります。
・電源線のシースをむく。シースのむき代は８０mm以下としてください。
・電源線の先端を段剥きし、吊具付属の棒端子を確実に加締める。
不備があると火災・感電の原因となります。
注）電源線被覆部を棒端子絶縁体の中に差込み、
銅線部がでないように加締めること
・電源線(黒、白、赤、黄）の棒端子を各々の端子台の
奥まで確実に差し込む。(上・下配光用)
緑のアース線はアース端子に加締める。
・Ｄ種（第３種）接地工事が必要。

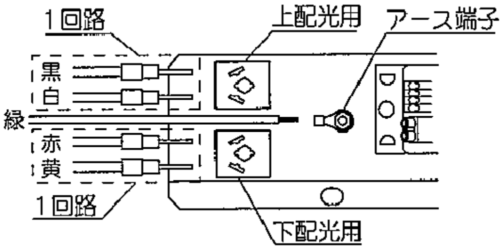


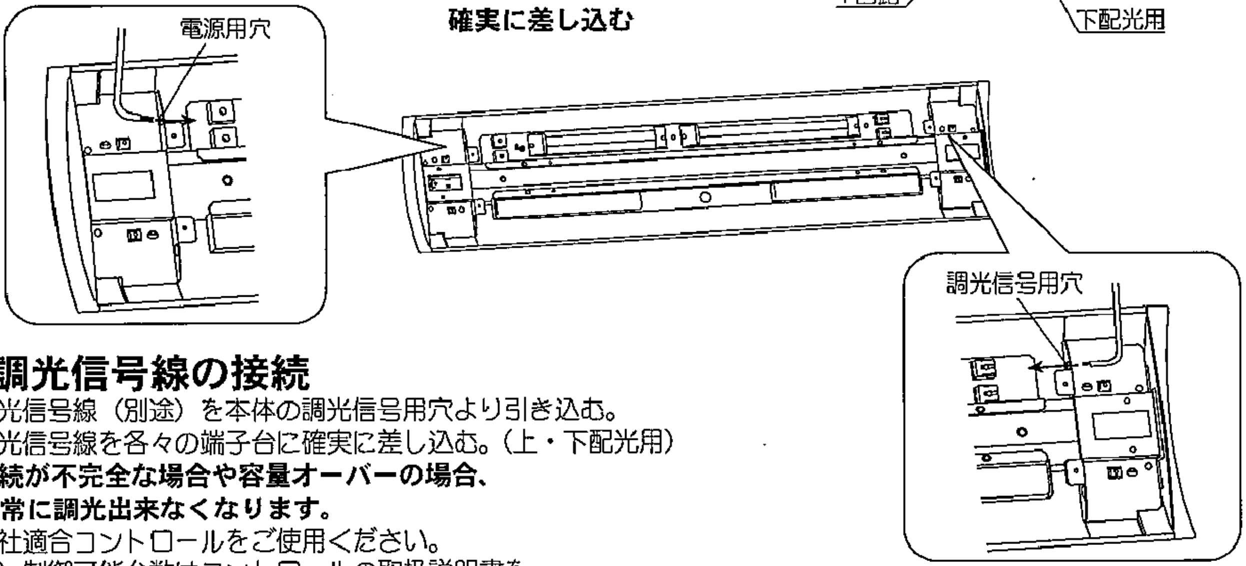


電源線の外し方
マイナスドライバー等を解除穴に
差し込みながら電源線を引き抜く



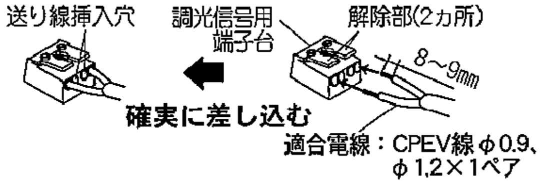
確実に差し込む

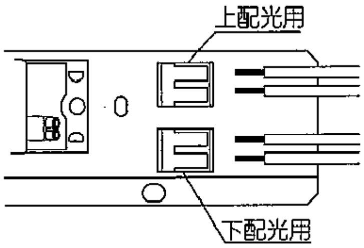




7. 調光信号線の接続

・調光信号線（別途）を本体の調光信号用穴より引き込む。
・調光信号線を各々の端子台に確実に差し込む。（上・下配光用）
接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、
正常に調光出来なくなります。
・弊社適合コントロールをご使用ください。
注）制御可能台数はコントロールの取扱説明書を
ご確認ください。





調光信号線の外し方
解除部を押しながら調光信号線を引き抜く

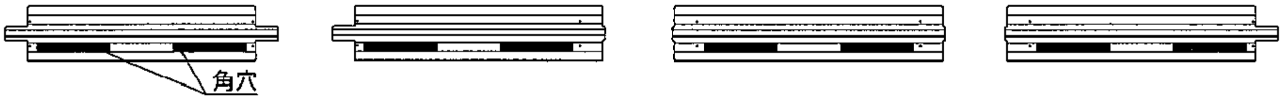
取付方法（つづき）

8. 上カバーの取付

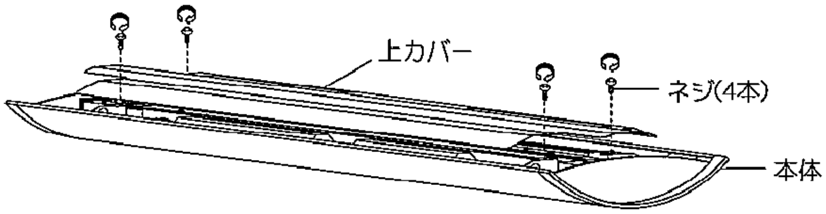
●上カバーは品番により、形状が異なります。本体品番と組合せが異なると取付ができません。
●取付には方向性があります。角穴がＬＥＤの位置と合うように取付けてください。
不備があると正常な光の照射ができません。

上カバーの形状

＜単体用＞	＜連結電源用＞	＜連結中用＞	＜連結信号用＞
FYY56020 FYY56024	FYY56021 FYY56025	FYY56022 FYY56026	FYY56023 FYY56027



・ネジ４本を締付け、上カバーを本体に取付ける。
・器具内に引き込んだ電源線・調光信号線を上カバーと本体の間に挟まないようしてください。
不備があると火災・感電の原因となります。

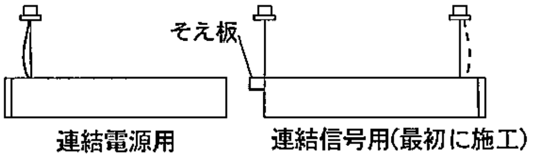


連結器具の取付

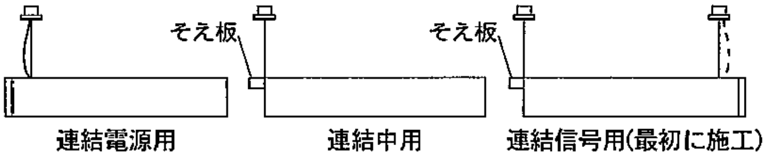
・必ず、連結信号用 → 連結中用 → 連結電源用の順に施工する。
施工順序に不備があると施工ができません。

連結	品　番	そえ板
電源用	FYY56021 FYY56025	なし
中用	FYY56022 FYY56026	あり
信号用	FYY56023 FYY56027	あり

2台連結



N台連結(18台以下)



取扱説明　**お客様へ、この説明書は必ず保管してください。**

ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

●器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
●ＬＥＤユニットが破損した状態で使用しない。落下・感電・火災の原因となります。
●万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。
　そのままで使用すると、感電・火災の原因となります。
●物を掛ける等、照明用途以外に使用しない。落下・火災の原因となります。
●地震・大きな振動または衝撃が器具に加わった場合には、各部に異常がないか確認する。
　異常があるまま使用すると、落下の原因となります。

⚠ 注意

●ＬＥＤユニット交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
●アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。強度低下による破損の原因となります。
●照明器具には寿命があります。設置して１０年(※)経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
　点検交換してください。※ 使用条件は周囲温度３０℃、１日１０時間点灯です。
●ＬＥＤ光源は寿命が来ても暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。
●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
●1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。(チェックシート番号：ＣＬＸ２０２１ＨＡ)
　点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。

■ＬＥＤ照明器具の光源寿命(※)は、４０,０００時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)
※光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の９５％に下がるまでの
　総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

使用上のご注意

・光源として高輝度ＬＥＤを使用しています。光源部（ＬＥＤユニット部）を長時間直視しないでください。
・この器具は自動初期照度補正機能付照明器具です。定格出力の約８5%の光束を保つように設計されています。
・電源投入から数秒後に調光状態（初期照度補正状態）となります。始動時の数秒間は明るさが異なりますが異常ではありません。
・ＬＥＤ素子にバラツキがあるため、ＬＥＤユニット内のＬＥＤ個々、及び同一品番で発光色・明るさが異なる場合があります。予めご了承ください。
・ＬＥＤユニットや器具の汚れについては補正しませんので、定期的な清掃をおすすめします。
・累積点灯時間のリセットについて
　この器具は累積点灯時間を記憶しながら、点灯時間に応じた光束減退特性に基づいて、照度補正を行っています。
　ＬＥＤユニットの破損や故障により、新しいＬＥＤユニットに交換される際、累積点灯時間をリセットする（累積点灯時間の記憶値を０にする）必要があります。
　リセット方法については、補修用ＬＥＤユニットの取扱説明書をご確認ください。
・停電等による電源遮断時も累積点灯時間は保持されますので、自動初期照度補正機能は電源再投入後も正しく動作します。
・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。
　雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
・光出力比（%）と目で感じる明るさ感には相違があります。
・電源電圧変動などの影響により瞬間的に明るくなったり暗くなったりする場合がありますが異常ではありません。
　予めご了承ください。
・コントロールと組合せて使用した場合、下記のような状態がありますが異常ではありません。
　同一器具または同一品番で点灯及び消灯時のフェードのしかたが異なる場合があります。
　低い調光域では段調光のように動作する場合があります。
　適合コントロール側のスイッチで消灯した場合、消灯後もＬＥＤユニットが薄暗く発光する場合があります。

保証について

●**保証について**……… この商品の保証期間は1年間です。但し、ＬＥＤ電源は3年間です。
詳細は弊社カタログをご参照ください。

●**保証書について**…… 保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

●**補修用性能部品の保有期間**…… 弊社はこの照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後、６年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ

●器具の清掃について… 水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。

⚠注意

●感電のおそれあり
お手入れ時は、必ず
電源を切ってください

■定格

		電圧	100V	200V	242V
LX9	全灯	電流	0.56A	0.27A	0.23A
	上配光		0.20A	0.09A	0.08A
	下配光		0.36A	0.18A	0.15A
	全灯	電力	55W	54W	54W
	上配光		19W	19W	19W
	下配光		36W	35W	35W

パナソニック株式会社　施設・店舗照明ビジネスユニット　〒571－8686 大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先　パナソニックお客様ご相談センター　0120-878-365(フリーダイヤル)　0120-878-236(FAX)

T0213－00